

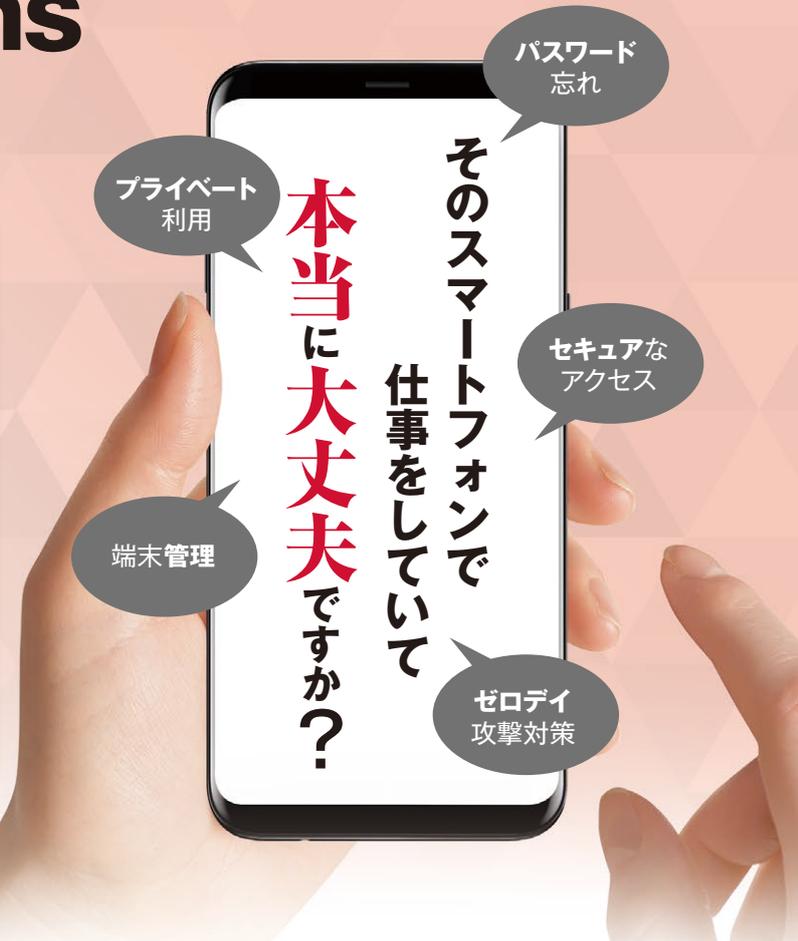
Ivanti Neurons for MDM

安心・安全も進化する

テレワークや働き方改革により、モバイル端末から社内システムのみならず、クラウドサービスへのアクセスも増加する今、リモートロックやリモートワイプだけのモバイル管理では不十分。

必要なのは「ゼロトラスト」発想のセキュリティです。社内外問わず、情報資産へのあらゆるアクセスを信頼せず、常に正当なアクセスであるか、正当な利用者であるかを検証したうえで、アクセスを認可する。Ivanti Neurons for MDM (旧製品名称: MobileIron UEM) はゼロトラストセキュリティへの対応に効果的な製品です。

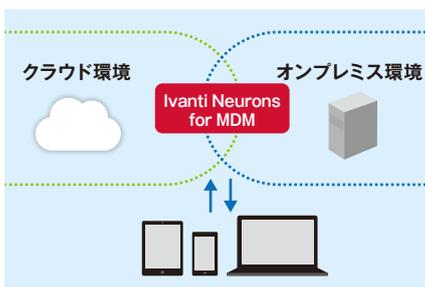
*MDM: Mobile Device Management



時代の変化に対応し、強固なセキュリティを実現

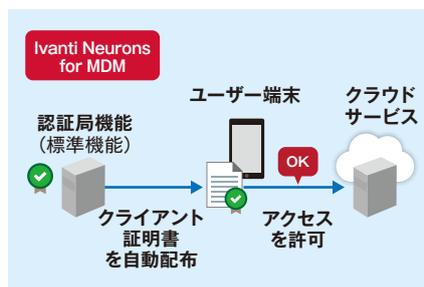
さまざまな環境に対応

お客様のネットワーク環境がクラウド利用やオンプレミス、もしくはそれらが混在している場合でも柔軟に対応可能です。



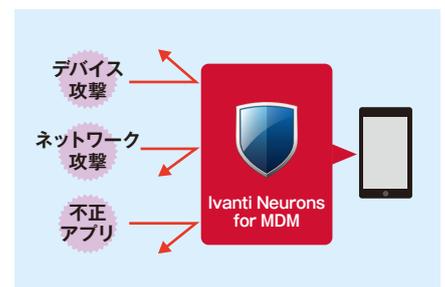
証明書で接続端末を適正化

電子証明書を発行する認証局機能を搭載し、自動でクライアント証明書を作成・配布。これにより、未許可端末によるアクセスを制御可能です。証明書サービスを別途用意する必要がありません。



外部脅威への対策

ネットワーク盗聴やOS・アプリ侵害などを検知すると即座に防御。機械学習と振る舞い検知機能によって、既知の脅威はもちろん、ゼロデイ攻撃にも対応可能です。



ユーザーにうれしい **これまで通り使えて、面倒な操作もなし**

使い慣れたアプリがそのまま使える

OSの標準アプリケーションや仕事効率化のためのビジネスアプリなどは、これまで通り使用できます。そのためIvanti Neurons for MDMの導入によって生産性が落ちる心配はありません。



徹底した使いやすさ

業務利用を認められたアプリケーションのみ、自動でVPNがオンになったり、ファイルの共有ボタンが表示される仕組み。セキュリティを意識することなく利用でき、ユーザーによるミス防止にもつながります。



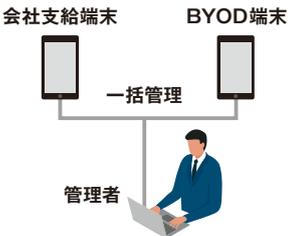
パスワード管理から解放される

証明書認証機能を備えているため、パスワード入力は不要。パスワード管理の手間を削減しつつ、情報漏洩を防ぎセキュリティを強化できます。

管理者にもうれしい **端末の管理・運用がしやすく、管理者の手間を削減**

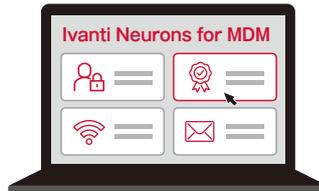
端末情報の可視化・一元管理

端末の位置情報や、インストールされているアプリの情報などを、ひとつの管理画面で確認可能。会社支給の端末はもちろん、BYODも含めて、すべての端末を一括管理できます。



操作性に優れた管理画面

管理画面は日本語に対応。また、面倒な操作はなく、目的に合った機能を選ぶだけなので、設定が簡単。管理者の不安や作業負担削減につながります。



OSバージョンアップは迅速に対応

Ivanti Neurons for MDMは頻繁なOSバージョンアップにすぐに対応。タイムラグによるセキュリティ低下の心配がありません。また自動で更新するため、管理者がユーザーに都度対応を指示するといった手間もかかりません。

豊富な導入実績

日立ソリューションズは、2018～2020年、国内で最もMobileIronを販売した代理店として、MobileIron Japan Partner of The Yearを3年連続で受賞。さまざまな業界の企業にご提案・導入をしてきた実績があります。

提案から運用までトータルサポート

Ivanti Neurons for MDMの豊富な機能を熟知した技術者が、お客様のご要望に合わせてご提案。幅広いノウハウと知見を持つ日立ソリューションズが稼働後の運用までサポートします。

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。